



アップグレードの確認

アップグレード プロセスの成功を確認する方法を説明します。

アップグレードを確認するには、次の作業を行います。

- ブラウザのキャッシュのクリア(33 ページ)(必須)
- セキュリティ証明書のインポート(34 ページ)(必須)
- Cisco Vision Dynamic Signage Director へのログイン(35 ページ)(必須)
- メニューの確認(35 ページ)(必須)
- サービス実行の確認(35 ページ)(必須)
- VLAN メディア プレーヤーのコンプライアンス チェックの設定(36 ページ)(必須)
- DMP ファームウェアのアップグレード(37 ページ)(必須)
- DMP のリポート(37 ページ)(必須)
- デバイス管理のメディアプレーヤー、グループ、ゾーンの確認(37 ページ)(必須)
- マルチキャスト設定の確認(38 ページ)(必須)
- アップグレード後のチェックリスト確認とテスト(38 ページ)(必須)

ブラウザのキャッシュのクリア

注意: 常設データベースの破損を回避し、最新版の Cisco Vision Dynamic Signage Director が実行されるようにするには、**すべての** ユーザがブラウザ キャッシュをクリアすることが重要です。Cisco Vision Dynamic Signage DirectorCisco Vision Dynamic Signage Director システムのすべてのユーザに、アップグレード後はブラウザ キャッシュをクリアしてからシステムを使用するように通知します。

Mozilla FireFox のブラウザ キャッシュをクリアする手順は次のとおりです。

1. メニュー バーから、[Tools] > [Clear Recent History] に移動します。
[Clear Recent History] のダイアログボックスが表示されます。
注: または、Ctrl+Shift+Delete を押して [Clear Recent History] ダイアログボックスを開きます。
2. [Time range to clear:] ボックスで、[Everything] を選択します。
3. 詳細のドロップダウンリストを開き、チェックマークがなければ [Cache] チェックボックスをオンにします。
4. [Clear Now] をクリックします。

セキュリティ証明書のインポート

Mozilla Firefox を使用して Cisco Vision Dynamic Signage Director サーバに初めてアクセスすると、セキュリティ証明書の警告が表示されます。一部の Cisco Vision Dynamic Signage Director 機能では、証明書のインポートが必要です。

Mozilla Firefox のセキュリティ例外の追加

Mozilla Firefox のセキュリティ例外を追加する手順は次のとおりです。

1. 「安全な接続ではありません(This Connection is Untrusted)」というタイトルで警告ページが表示された場合は、「**リスクを理解しています(I Understand the Risks)**」オプションをクリックします。
2. [Add Exception] をクリックします。
3. [Add Security Exception] ダイアログボックスで、[Confirm Security Exception] をクリックします。
4. Mozilla Firefox のすべてのウィンドウを閉じます。

Mozilla Firefox でセキュリティ証明書の警告が表示されずに Cisco Vision Dynamic Signage Director サーバにアクセスできるようになります。

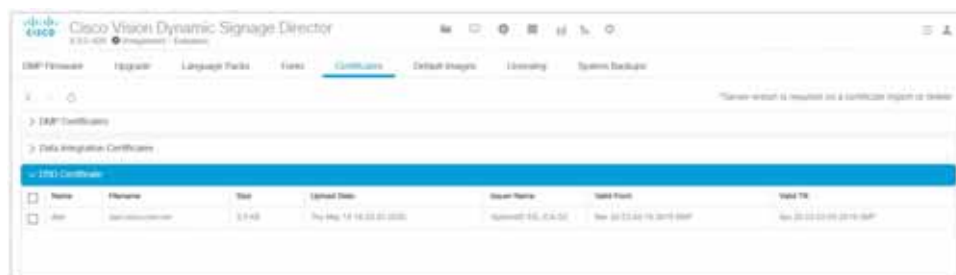
DSD 証明書のインポート

ソフトウェア マネージャ インターフェイスを使用して、Cisco Vision Dynamic Signage Director(DSD)の証明書を管理します。この機能により、ポップアップに信頼できないブラウザ警告が表示されなくなります。この機能を使用すると、独自の DSD 証明書をインポートして迷惑なセキュリティ警告が表示されないようにすることができます。証明書タイプ .cer、.crt、および .pem がサポートされています。

DSD 証明書をインポートするには、次の手順を実行します。

1. [More] > [Manage Software] > [DSD Certificate] をクリックします([図 1\(34 ページ \)](#))。
2. [Upload] アイコンをクリックします。[Certificate Upload] ダイアログボックスが表示されます。

図 1 DSD 証明書のインポート



3. 証明書名ファイルを選択します。
4. 秘密キーファイルを選択します。
5. [Upload] をクリックします。正常にインポートされると、成功メッセージが表示されます。

この新機能の使用方法の詳細については、『[Release 6.4: Cisco Vision Dynamic Signage Director System Administration Guide](#)』を参照してください。

注: 証明書をアップロードした後、DSD Web サーバを再起動して新しい証明書を有効にします。TUI を使用します。

Cisco Vision Dynamic Signage Director へのログイン

アップグレードが成功し、Cisco Vision Dynamic Signage Director が動作していることを確認する手順は次のとおりです。

1. ブラウザ ウィンドウを開き、次のサンプルの形式でCisco Vision Dynamic Signage Directorサーバの URL を入力します。x.x.x.x で表示されている部分は、サーバの Ipv4 アドレスです。

```
https://x.x.x.x/CiscoVision/login.html
```

または

```
http:// x.x.x.x
```

Cisco Vision Dynamic Signage Director のログイン画面が表示されます。

2. Cisco Vision Dynamic Signage Director の管理者用のログイン クレデンシャルを入力し、[Login] をクリックします。

注:初めて Cisco Vision Dynamic Signage Director にログインする場合のデフォルトの管理者のユーザ名は「admin」、パスワードは「C-V1\$!0n」です。

Cisco Vision Dynamic Signage Director の資産ライブラリ画面が表示されます。

3. 画面の左上に適切なバージョンが表示されていることを確認します。

注:ウィンドウに正しいバージョンが表示されない場合は、[ブラウザのキャッシュのクリア\(33 ページ\)](#)の説明に従ってブラウザ キャッシュをクリアしてください。

メニューの確認

メニューを確認するには、次の手順を実行します。

1. [Main Menu]Cisco Vision Dynamic Signage Director から、[System Configuration] をクリックします。しばらくしてリソースがロードされると、新しいウィンドウに Cisco Vision Dynamic Signage Director 画面が表示されます。
2. [Library] 画面(メインメニュー)の左上で、Cisco Vision Dynamic Signage Director ソフトウェアのバージョンおよびビルド番号を確認します。

注:ウィンドウに表示されるバージョンおよびビルド番号がロードしたものと一致しない場合は、[ブラウザのキャッシュのクリア\(33 ページ\)](#)の説明に従ってブラウザキャッシュをクリアしてください。

3. 他の Cisco Vision Dynamic Signage Director 画面とメニューが開くことを確認します。

サービス実行の確認

リリース 6.4 をインストールまたはアップグレードした後、TUI から Dynamic Signage Director 構成の更新と仮想マシンプロファイルを確認します。

アップグレード後、すべてのプライマリ Cisco Vision Dynamic Signage Director サービスが実行されていることを確認します。

サービスの実行を確認する手順は次のとおりです。


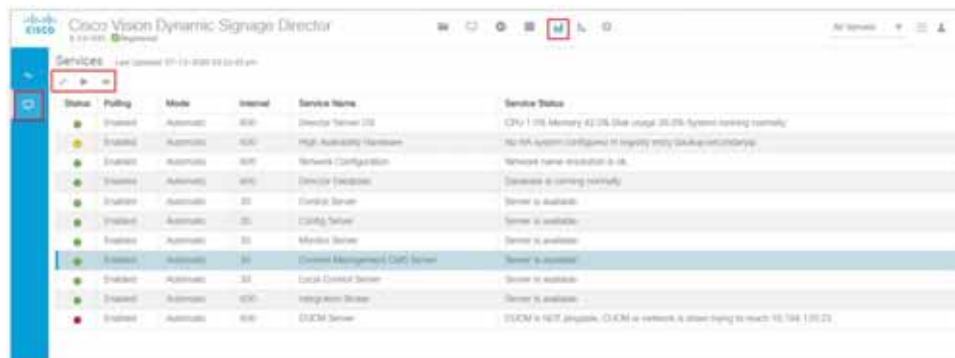
1. [System Status] > [Monitor and Status] をクリックします。
2. [Services] パネルが表示されます( [2\(36 ページ\)](#))。
3. すべてのプライマリ サービス(特にコンテンツ マネジメント CMS サーバ)にサービス アラートの発生がなく、「通常」(緑色)の状態であることを確認します。

図 2 通常サービス ステータスの確認



- 上記リストの CMS サーバまたは別のサービスが通常の状態であるべきにもかかわらずそうでない場合、TUI サービスメニューを使用して再起動します。[Main Menu] > [Services Control] > [Content Management System (cms)] に移動します。

VLAN メディア プレーヤーのコンプライアンス チェックの設定

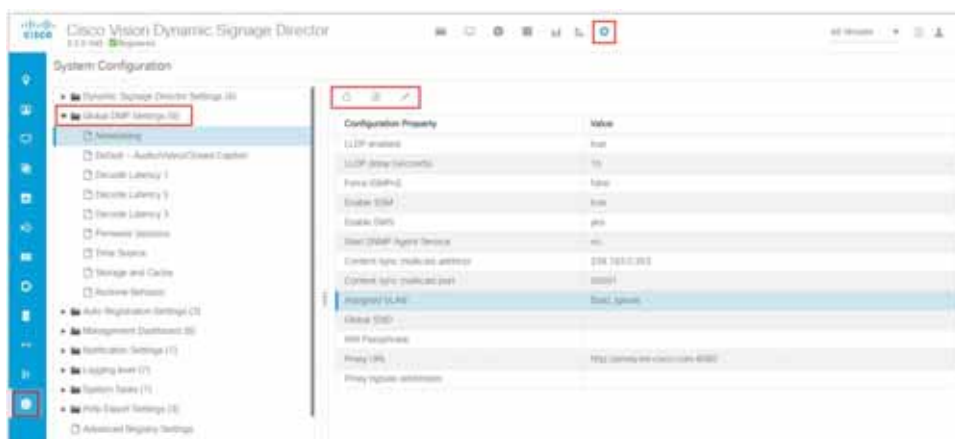
VLAN のコンプライアンスチェックを実行するには、アップグレード後に、メディアプレーヤーの VLAN 設定に応じて [Assigned VLAN] プロパティを変更します。

注: 同一 VLAN 上にすべてのデバイスが設置されている場合は、メディアプレーヤーの [Assigned VLAN] プロパティを設定することをお勧めします。値が設定されると、メディアプレーヤーによって送信されている内容に関するチェックが行われます。または、デフォルトの `$svd_ignore` を設定してください。

[Assigned VLAN] プロパティを設定する手順は次のとおりです。

- [Configuration] > [System Configuration] > [Global DMP Settings] > [Networking] をクリックします。

図 3 DMP 用の割り当て済み VLAN プロパティの設定



- [Assigned VLAN] プロパティを見つけます。
- [Edit] をクリックします。[Edit Configuration Settings] ダイアログボックスが表示されます。次のいずれかを実行します。
 - DMP すべてが同じ VLAN 上にある場合 (推奨) - [Value] フィールドに VLAN の番号を入力します。
 - DMP すべてが同じ VLAN 上にない場合、またはコンプライアンスチェックする VLAN にバイパスしたい場合 - [Value] フィールドに「`$svd_ignore`」と入力します。
- [保存 (Save)] をクリックします。

DMP ファームウェアのアップグレード

重要:すべての DMP でリリース 6.4 向けのファームウェアのアップグレードが必要です。

システムで Cisco Vision Dynamic Signage Director リリース 6.4 ソフトウェアに初めてアップグレードする場合、新規ファームウェアのアップグレードとファームウェアの設定が必要です。[DMP ファームウェアのアップグレード\(39 ページ\)](#)の章に移動します。

DMP のリブート

Cisco Vision Dynamic Signage Director ソフトウェアのアップグレード後は、DMP を再起動してランタイムソフトウェアの最新バージョンを取得します。

- リリース 6.4 への初めてのシステム アップグレードで、DMP のファームウェア アップグレードが実行済みである場合、DMP はすでにリポートされています。DMP をリポートしないでください。
- リリース 6.3 からリリース 6.4 へのアップグレードの場合は、DMP をリブートして DMP のランタイムソフトウェアをアップデートします。

DMP システム ランタイムを確認するには、[デバイス管理のメディアプレーヤー、グループ、ゾーンの確認\(37 ページ\)](#)を参照してください。

デバイス管理のメディアプレーヤー、グループ、ゾーンの確認

注:メディア プレーヤーのステータスを確認する前に、VLAN のコンプライアンス チェックが実行されるように [Assigned VLAN] プロパティを設定してください。詳細については、[VLAN メディア プレーヤーのコンプライアンス チェックの設定\(36 ページ\)](#)を参照してください。

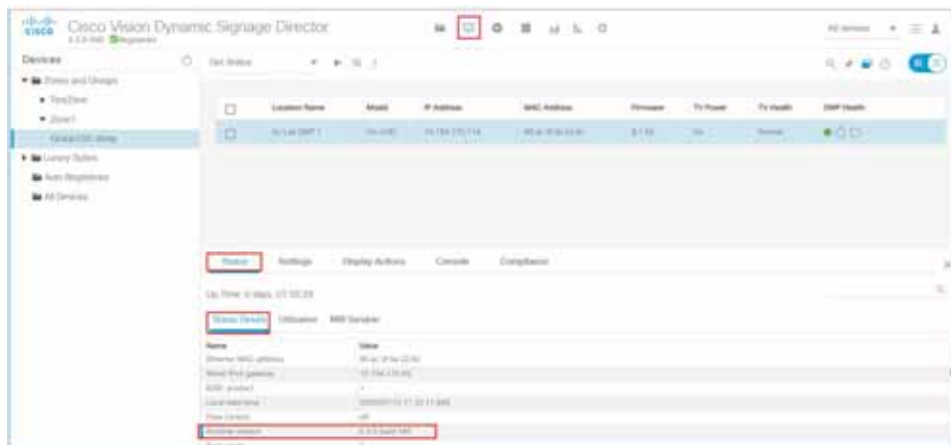
ソフトウェアのアップグレード後にメディア プレーヤー、グループ、ゾーンを確認する手順は次のとおりです。

1. [Device Management] をクリックして、グループ、ゾーンおよびメディアプレーヤーすべてが存在し、緑色の状態であることを確認します。
2. すべてのデバイスで **Get Status** コマンドを実行して更新し、すべてのデバイスがリポートに成功して正常な状態であることを確認します。

注:この操作で、メディア プレーヤーの MAC アドレスも更新します。

3. 正しい Cisco Vision Dynamic Signage Director のランタイム バージョンが DMP にロードされたことを確認します:
 - a. 確認する DMP を選択します。[Play] アイコンをクリックします。
 - b. [Status] > [Status Details] に移動します。
 - c. [Runtime version] までスクロールし、報告されたバージョンを確認します([図 4\(38 ページ\)](#))。

図 4 デバイス管理のデバイスステータスの詳細



4. (オプション) 次のコマンドプルダウンメニューを使用して、正常な DMP の DMP ステータスを「Production」に変えます。
[Change DMP State]。
5. **Get Status** を実行し、変更後のデバイスの状態を確認します。
6. 「正常」ではないステータスのデバイスがないかを調べます。

マルチキャスト設定の確認

Cisco Vision Dynamic Signage Director では、DMP のコントロールプレーン運用にユニキャストとマルチキャスト両方の通信を使用します。Cisco Connected Stadium は、Cisco Vision Dynamic Signage Director が 239.193.0.0 をマルチキャストグループアドレスの範囲としての使用することが必要な設計となっています。

Cisco Vision Dynamic Signage Director のマルチキャストグループアドレスは、「マルチキャストホストポート (MulticastHostPort)」レジストリで設定されています。

マルチキャスト設定の詳細については、『[Cisco Vision Server Administration Guide: Dynamic Signage Director](#)』の「[Configuring the Cisco Vision Director Server System Settings](#)」モジュールで「Configuring Multicast Ports for Cisco Vision Director」トピックを参照してください。

Cisco Vision Dynamic Signage Director のマルチキャストアドレッシングを確認または設定する手順は次のとおりです。

1. [Configuration] > [System Configuration] > [Advanced Registry Settings] をクリックします。
2. リストで「MulticastHostPort」レジストリキーまでスクロールし、レジストリのエントリを確認します。
3. 値を変更するには、[Edit] をクリックします。[Edit Configuration Settings] ダイアログボックスが表示されます。
4. [Value] フィールドで、239.193.0.0/24 の範囲でマルチキャストアドレスを指定します。

注: Cisco Connected Stadium ネットワークで設定した値と、次のポートを使用していることを確認してください。デフォルトの推奨値は **50001** です。

5. [保存 (Save)] をクリックします。

アップグレード後のチェックリスト確認とテスト

付録 A: アップグレード後チェックリスト (53 ページ) を使用して、必要な手順が完了していることを確認します。